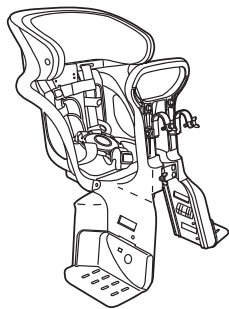
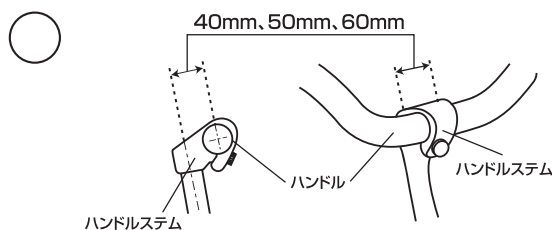
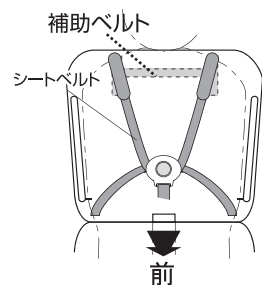
OGK **ヘッドレスト付コンフォートフロント子供のせ<FBC-011DX>** **取付取扱説明書**

取扱い注意事項 この説明書は、ご使用の前に必ずお読み下さい。読まれた後は大切に保管して下さい。

ハンドルステムの突き出し寸法:40mm、50mm、60mmに適応

この子供のせには
5点式シートベルト(補助ベルト付)が
採用されています。

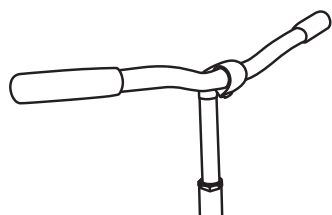
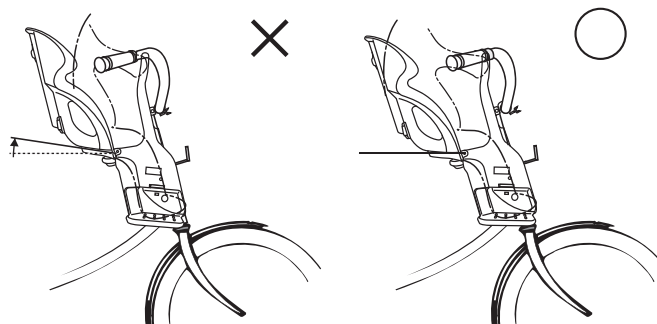
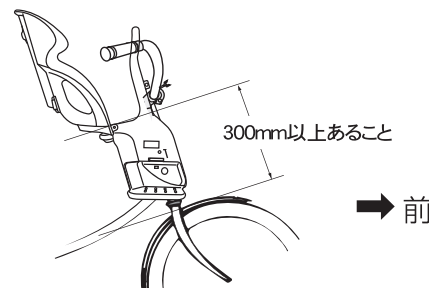
⚠ 注意
- 補助ベルトは必ずお子様の背中側にくるようにして下さい。
- シートベルトを装着してから使用して下さい。
- お子様の首に巻き付いたり体を圧迫しないように留意して下さい。

●適用年齢:1歳～3歳位のお子様(身長:100cm以下・体重:15kg以下)●適合自転車:24～27インチの婦人車、軽快車(※両立スタンド・前車輪ガード装着車に限る。ハンドルストッパーを備えた自転車に取付けることが望ましい。)※但し、ダイヤモンド形フレームやハンドルの形状によっては取付けが出来ない場合があります。
⚠ 注意:ご使用になられるお子様の年齢及び体格を確認し、指定範囲以外のご使用はしないで下さい。

警告

●これは自転車用の前子供のせです。他の目的に使用しないで下さい。●取付け作業は販売店で行って下さい。●自転車に子供のせを取り付け、お子様を同乗させることにより、自転車のハンドル操作や走行安定性を損ない、ブレーキをかけた時には制動距離が長くなります。●一本スタンドの自転車には取付けしないで下さい。必ず、ロック付の両立スタンドをお使い下さい。●お子様の足部安全の為、必ず前車輪ガードと併用して下さい。前車輪に前車輪ガードの付いていない自転車には必ず前車輪ガードを取付けて下さい。●自転車のハンドルを上下する必要がある時は、必ず販売店に相談して下さい。●自転車に取付ける子供のせは1つに限ります。但し、幼児2人同乗用自転車の場合は、自転車店に相談するか、自転車の表示や取扱説明書で本製品が取付け可能な子供のせであることを確認の上、うしろ用子供のせと合わせて2つ取付けることが出来ます。●使用中、お子様の手足が届く範囲に自転車錠がある場合は、錠が作動する場合がありますので、その位置には充分注意して下さい。●使用する時は子供のせの取付けが確実であることを確認し、破損、変形等したまま使用しないで下さい。●お子様を子供のせに乗せたとき、ヘッドレストが頭部の中心よりも高くなるように調整して下さい。お子様には自転車用ヘルメットを着用させて下さい。ヘルメットを着用させないで幼児座席にお子様を乗せると事故の時に致命的な障害を受ける確率が高くなります。又、運転なさる方も出来るだけヘルメットを着用して下さい。(SGマーク付のヘルメットをお奨めします。)●ハンドルポストの限界標識線がフレームの中にかくれる状態で使用して下さい。●自転車に同乗させるお子様は1人に限り、使用できるお子様の年齢、体重及び身長の範囲でご使用下さい。●ハンドルポストの取付け位置に他のアクセサリーがある場合は取り外して下さい。●ペダルを漕いだ時、運転手の足が子供のせに触れないように、又タイヤに巻き込まれないように注意して下さい。

注意

●お子様を乗せたまま絶対に自転車から離れないで下さい。(目を離したすきに、転倒等で怪我をなさると大変です。充分ご注意下さい。)●お子様を乗せたまま自転車から短時間であっても手を離さないで下さい。●お子様を乗せおろしする時は必ず平坦な場所でスタンドをロックして行って下さい。●お子様を子供のせに乗せる時は荷物等を積んだ後に乗せ、おろす時は荷物等をおろす前にお子様をおろして下さい。●お子様には必ず靴を履かせて下さい。●お子様を乗せる時には、お子様が正しい姿勢であることを確認し、特に足部が車輪等に巻き込まれないよう、その位置に留意して下さい。●シートベルトが車輪に巻き込まれないように注意して下さい。●お子様を乗せる時は必ずシートベルト(肩ベルト・腰ベルト・股ベルト)を使用して下さい。●子供のせを雨ざらしにしないで下さい。●お子様の首にシートベルトがかからないよう留意して下さい。●乗車及び走行中はお子様がニギリをしっかり握るように留意して下さい。●お子様が眠らないように注意して下さい。●走行中は急ブレーキ、急ハンドルは避けましょう。●悪路走行やアクロバット走行を行わないで下さい。●火気高温に近づけないで下さい。●ヨゴレは水を含ませた雑巾等で拭取って下さい。シンナー・ベンジン等は付着させないで下さい。●シートベルトの寿命は約2年です。異常が無くても2年に一度、交換して下さい。(有料)●使用にあたっては交通法規を守って下さい。

●オールランダータイプのハンドルや、スポーツ車用のハンドル、又は特殊形状のハンドルを装着している自転車には取付け出来ません。

●座面が地面に対して前に傾いているとお子様が前方にずれて危険です。座面が地面に対して水平に取付けて下さい。

●子供のせの座面前縁より前車輪までの間300mm以下になる自転車には取付けないで下さい。
○お子様の足が車輪に巻込まれケガをする恐れがあります。

⚠ 注意:3人乗り(幼児2人同乗)自転車で使用するとき。

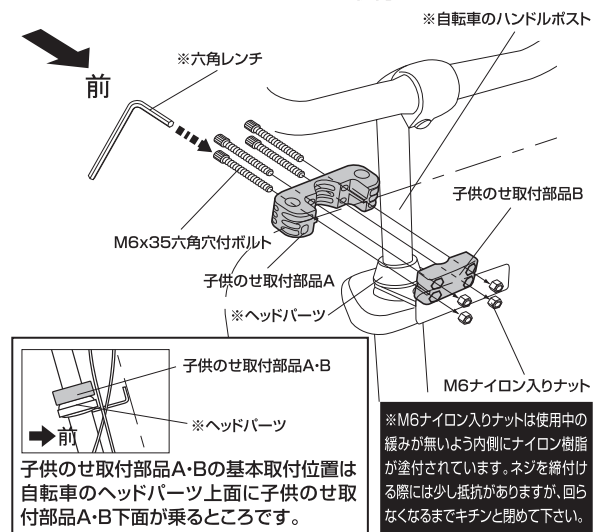
●子供のせのヘッドレストを最も上げ、サドルを最も下げたときに、サドル上面と子供のせのヘッドレストの上端との高度差は550mm以下になるようにして下さい。

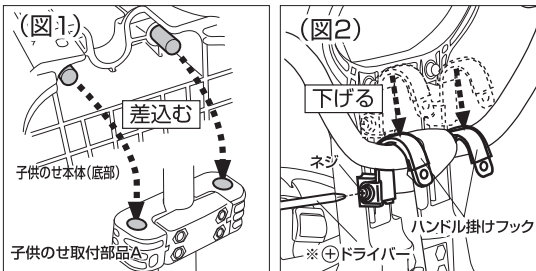
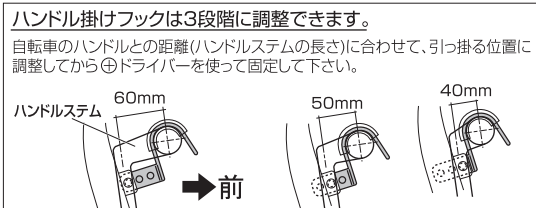
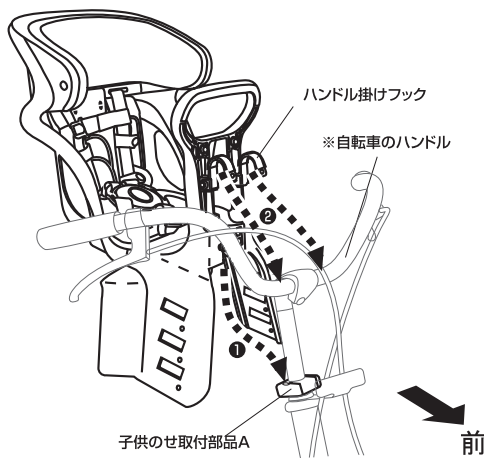
部品構成

組立て方・取付け方

① 自転車のハンドルポストに子供のせ取付部品Aと子供のせ取付部品Bを、M6x35六角穴付ボルトとM6ナイロン入りナットでしっかり取付けます。

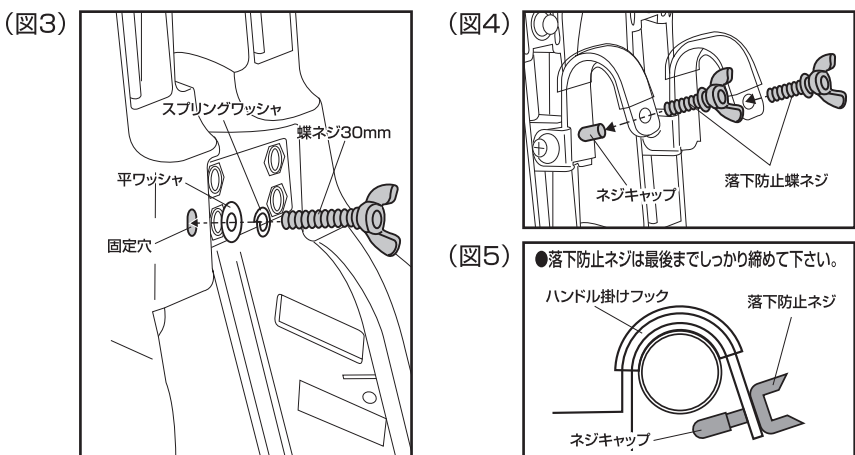
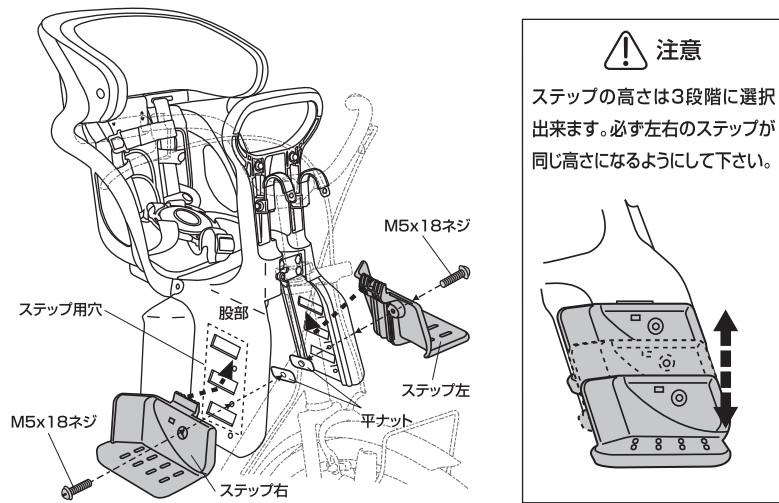
子供のせ取付部品A・Bの基本取付位置は自転車のヘッドパーツ上面に子供のせ取付部品A・B下面が乗るところです。

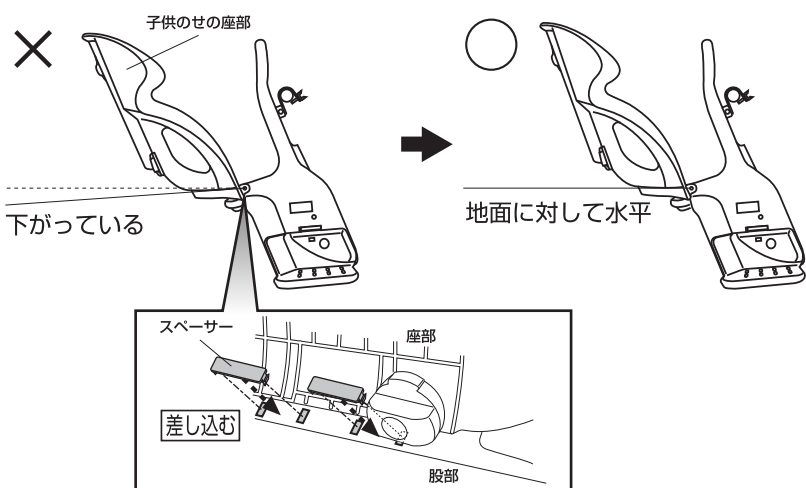
※M6ナイロン入りナットは使用中の緩みが無いよう内側にナイロン樹脂が塗付されています。ネジを締付ける際には少し抵抗がありますが、回らなくなるまでキチンと閉めて下さい。

② 子供のせ取付部品Aの穴に子供のせ本体を差込み（図1）、ハンドル掛けフックを自転車のハンドルに引っ掛けネジでしっかりと⊕ドライバーで締めて固定します。（図2）

⚠ 注意：自転車のフレームに子供のせの股部が接触して、自転車のハンドルの切れ角が60度以上にならない場合は①項に戻り、子供のせ取付部品AとBの位置を上げて調整して下さい。

③ 蝶ネジ30mmにスプリングワッシャ、平ワッシャを通して本体と子供のせ取付部品Aの固定穴に通します（図3）。落下防止蝶ネジはハンドルフックに捻じ込んでから、落下防止蝶ネジの先端にネジキャップを挿します。（図4）（図5）
※蝶ネジは最後までしっかり締めて下さい。

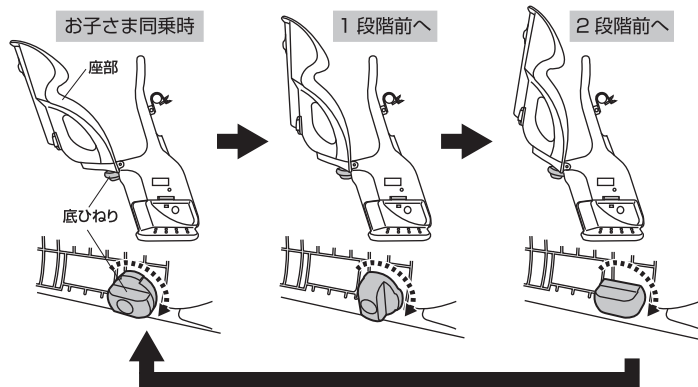
（図3）

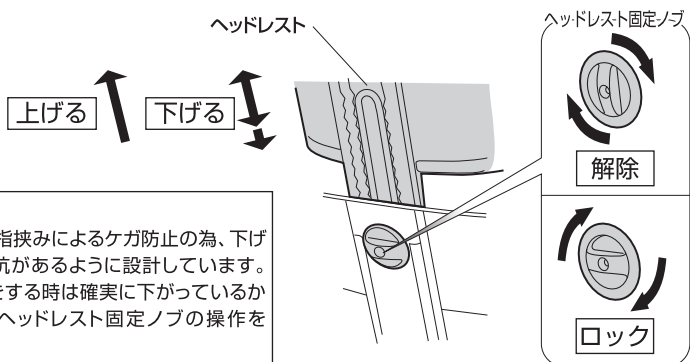
（図4）

（図5）

④ ステップ右とステップ左の上部を本体股部のステップ用穴に差込んで、M5X18ネジと平ナットでしっかり固定します。

座部角度の微調整

子供のせの座部が若干うしろ下がりの場合、座部と股部の間にスペーサーをご使用いただくことで調整が可能です。

座部の倒し方

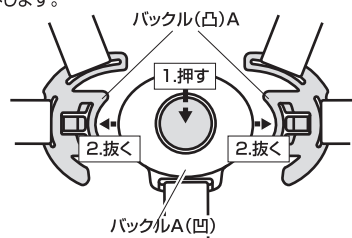
お子さまが同乗しないとき座部の底ひねりを回転させることで前方に倒すことが出来ます。必要に応じてご使用下さい。

⚠ 注意　お子さまが座るときは必ず水平に戻して下さい。また、座部角度の微調整の為に使用しないで下さい。
操作のときに指を挟まないように注意して下さい。

ヘッドレストの調整

必要に応じてヘッドレストが使用出来ます。背面のヘッドレスト固定ノブを解除してヘッドレストを引き出し、再びヘッドレスト固定ノブでロックします。

⚠ 注意：
ヘッドレストは指挟みによるケガ防止の為、下げる時は少し抵抗があるように設計しています。
下げてロックをする時は確実に下がっているか確認してからヘッドレスト固定ノブの操作を行って下さい。

ヘッドレストは、お子様が子供のせに着座した時に側頭部の保護部分がお子様の頭部の中心より高くなるように調整して下さい。

シートベルトの着脱

外す時
バックル(凹)の中心にあるボタンを押してバックル(凸)Aを外します。

止める時
バックル(凸)Aを、バックルA(凹)に差込みます。

装着後は必ずしっかりと固定されているか上下左右にゆすって確認してから走行して下さい。

●本書に使用しているイラストは操作方法や構造、仕組みなどを分かりやすくするため、現物とは多少異なる場合もあります。
●品質向上・改良の為予告無く仕様・デザインを変更する場合がありますので予めご了承下さい。

製造・販売 オージーケー技研株式会社　577-0066 東大阪市高井田本通6丁目2-32　TEL：06-6782-4353（代）　E-mail:info@ogk.co.jp　ホームページ:http://www.ogk.co.jp